

多摩市高齢者在宅療養支援窓口

ニュース 令和3年 6月 vol.5



多摩市高齢者在宅療養支援窓口は町の身近な在宅療養の相談窓口として、多摩市医師会館内にあります。

医療・介護・福祉関係者からの在宅療養・介護療養に関する相談や、入退院に際しての医療・介護関係者からの相談、患者・家族からの在宅療養に関する相談を受けています。

令和2年度の相談実績

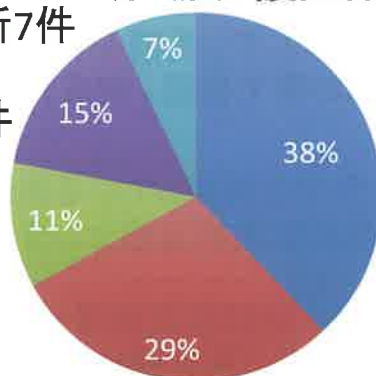
★令和2年度相談件数 実数100件

(医療介護関係者62% 市民38%)

介護サービス事業所7件

医療機関・歯科15件

地域包括支援センター11件



市民38件

ケアマネジャー
29件

★在宅療養を支える医療機関の情報等をお伝えします。

医療介護関係者の皆様のご相談をお待ちしております。

◎裏面に事例を載せておりますのでご覧ください。

◆認知症について◆

認知症に関する相談も増えてます。多摩市では、認知症ケアパスや認知症初期集中支援チームなどがあります。家族会や当事者の会等もあります。もの忘れについての相談は、かかりつけ医に相談したり、地域包括支援センターにご相談する事をお勧めします。誰でも、認知症になる可能性があります。身近な人や心配なことがあれば、早いうちから相談し、認知症であっても無くても自分らしく過ごせて、支え合える地域にしていければいいですね。



多摩市高齢者在宅療養支援窓口

住所: 多摩市永山5-15 【多摩市医師会館内】

電話: 042-357-1677

受付: 月～金【祝祭日・12月29日～1月3日除く】

10時～16時

担当: 淵野・石岡

多摩市高齢者在宅療養支援窓口

ニュース 令和3年 6月



相談事例 1 A氏 80代

(病院相談員から)認知症のかたが通院困難になって来た。内科と認知症を両方診てくれる訪問可能な診療所を探しているので教えて欲しい

→内科と認知症の両方を見てくれる医療機関を紹介し、訪問診療をうけて、在宅での生活が継続している。



相談事例 2 B氏 70代

(市民娘から)最近、置き忘れや、名前が出てこない等の物忘れが出てきた一人暮らしの母の事で相談。物忘れを診てくれる所を紹介して欲しい

→相談窓口で、物忘れ外来を実施している医療機関を紹介する。一人暮らしのため、担当地域包括支援センターを紹介する。

⇒物忘れ外来を受診され、地域包括支援センターが介護保険の申請代行する。「認知症ケアパス」(知って安心認知症)も活用。後日、要介護①が出て、通所介護サービスを利用し、生活が活発になり、明るくなられたと娘様から報告がある。



相談事例 3 C氏 90代

(介護支援専門員から)認知症の方が、腰痛がひどくなり、認知症と整形外科の両方を診てくれる所を紹介して欲しい

→整形外科と認知症の両方を診てくれる所を紹介し、受診ができて、腰痛が改善された。

多摩市では、多職種が連携しながら在宅生活を支援します。様々な相談がありますが、お気軽にご相談ください。必要な機関に繋げ、住み慣れた地域で、自分らしく、安心した生活が送れるように支援したいと思います。

電話042-357-1677 (月～金)10時～16時

